２００５年１０月　№５０

みんなで遊ぼう　みんなで学ぼう　　場所ー国分ヶ丘集会所

国分アンビシャス広場だより

AMBITIOUS

国分アンビシャス広場ホームページ
http://www.f-icq.com/ambitious

１０月のひろばのある日

日	月	火	水	木	金	土
ー	ー	ー	ー	ー	ー	1
ー	ー	ー	5	ー	ー	8
ー	ー	ー	12	ー	ー	15
ー	ー	ー	19	ー	ー	22
ー	ー	ー	26	ー	ー	29

ー　　水曜日　15時～17時
　　土曜日　14時～17時

広場の行事予定

こま回し記録会

10月15日(土)　15：00～

チャレンジしよう　スタンプが15でかっこいいへそごまがもらえるよ。

こまの指導は毎回行っています。

アンビシャス教室　（10月予定）
（午前の部）
囲碁教室　（１０：００～１１：３０）
１日、８日,１５日、２２日
（２９日休み）
抹茶教室　１５日(１０:００～１１：００)
（午後の部）
卓球教室　（１４：００～１５：３０）
１日、８日、１５日、２２日、２９日

広場で大人は､井戸端会議をやっています。何時でもどなたでもお出かけくださいください。

１０月に開いていました広場祭りは、今年度は、６年生の卒業を祝って来年3月に行います。

地域の教育力を考える　シンポジウムが開催されました

九月四日、アンビシャス広場連絡協議会主催で開かれました。会場の中央公民館には、広場、ＰＴＡ、子ども会、民生委員、自治会、補導員、学校、子育て支援などの関係者など百十三名の市民が集まり、約三時間、熱心な議論が繰り広げられました。

基調講演で福岡教育大学名誉教授の横山先生は、**子どもは、家庭や学校だけで育つのではない。地域の子ども同士の触れ合いの中で育つ面がある。遊びには、自主性、社会性、耐性、道徳性、創造性など心の発達に必要な体験が含まれている。**地域では、親同士はもちろん地域の人みなが積極的に交流し、隣近所親しい関係になること、それから親自身があまり遊んでいない方もおられるから、今こそ地域の大人が関わるとよい。

そして地域と学校が連携して十一の広場を作っている小郡市では、「イライラしたりむかつくことがある」という子どもが減少した調査の話がありました。

シンポジウムでは、「青少年の犯罪が福岡県は、人口比率で日本一であることを皆で何とかしないといけない。」「中学生の中には居場所のない子がいる、公民館などを活用した中学生の居場所をつくれないか。」「アンビシャス広場と子ども会の連携について」などの意見が出ました。参加した方の感想は「多くの保護者に参加してもらうように行政がもっと働きかけを」「青年、少年、幼児期のことが把握できた」「子どもはまちの宝まったく同感です、私は読書ボランティアで頑張ります。」「中身の濃いシンポでした」など。途中で帰る人もなく皆さん最後まで真剣でした。

天満宮和ごま競技大会

今年は１２月４日（日）に決まりました。

みんなで練習を始めよう。６年生は最後です。まだ出ていない人は思いでづくりに参加してみませんか。まだこまを回せない子は、ぜひ練習してください。いろんな勉強が出来ますよ。

広場では毎回こまを指導しています。






大谷川の水源地を探索

囲碁教室のみんなが大谷川の水源を探索しました。小さい子にはちょっときつかったかな。

未就学児は、ボランティアの目が届きませんが**保護者同伴**でお願いします

広場についてのお問合せ　℡924-0580
国分アンビシャス広場委員会　藤田彩子

アンビシャス運動は県民運動です